

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	武雄市立山内西小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>①知的な学校【知的好奇心の育成】について 佐賀県教育委員会研究指定事業「プログラミング教育」の1年目だった。自ら課題を立てて学習に取り組むことができる児童が90パーセントに達したことから、児童が見通しをもって学習に取り組めるような教師の指導力が向上したと考えられる。次年度は、プログラミング教育の年間計画、学年間の系統性、公開授業の持ち方、研究の組織づくりについて全職員で共通理解し、共通実践に更に励んでいきたい。</p> <p>②居心地のいい学校【自己肯定感の育成】について 週1回気になる児童の情報を全職員で共有したり、教育相談週間を年2回実施したりしたことで、児童の悩みやいじめの早期発見に組織的に取り組むことができた。また、SCや関係機関と連携を取って、不登校傾向児童への対応策を講じることができた。次年度も引き続き、SCや関係機関との連携を強化して、いじめの早期発見や不登校児童へのよりよいアプローチをしていきたい。</p> <p>③元気な学校【挑戦心の育成】について 「西っ子よいこのくらしのカード」や「生活振り返りカード」を用いて、保護者への啓発を図ったことで、基本的な生活習慣を身に付けている児童が95%に達した。また、体育的行事の工夫によって、児童の体力向上につながった。次年度も、外遊びを奨励するような放送をしたり、外遊びが楽しくなるような行事を設定したりして、児童の健康・体力づくりの向上を図りたい。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 輝く山内西の子
----------	-------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>①全職員の共通実践を通じた教職員の資質向上 ②人権教育の更なる充実による児童の自己肯定感の育成 ③体育的行事の工夫による児童の健康・体力づくりの向上</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ○単元テストの正答率が80%を上回る。	「授業づくりステップ123」のチェックリストを活用した自己評価を定期的に行い、授業改善の意識の継続を図る。 「家庭学習のてびき」を全家庭に配布し、家庭への啓発を図るとともに、「授業ノート」や「自主学習ノート」などを掲示し児童の学習への意欲を喚起する。			
	○プログラミング教育の推進	○プログラミング教育に関する授業研究会を行った教師90%以上 ○「プログラミングの学習は楽しい」と答えた児童80%以上	・原則全職員がプログラミング教育に関する授業研究会を行うものとし、必ず授業前の指導案検討や授業後の研究会をグループで行う。							田中、研究推進委員
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校が楽しい」と答える児童を85%以上にする。 ○「自分や相手が大切だ」と思う児童を85%以上にする。	・「ふれあい道徳」を年に1回以上全クラスで実施し、学級便り等で保護者に知らせる。 ・人権・同和教育は全教育課程に位置づけ、教育活動の中で、子ども周りの人のつながりや、一人ひとりの存在を認め合うようにする。 ・運動会や青空教室等で異学年交流ができるように、「ふれあい班」を編成する。							池田知、なかまP
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「やまうち合言葉」の「優しい言葉を周りの人へ」を意識して行動できる児童(自己評価で)を90%以上にする。	・共通認識のもと、教師も「さん」をつけて名前を呼ぶ。 ・「教育相談」「いじめアンケート」を実施し、いじめや気になる児童の早期発見・早期対応に努める。							一ノ瀬、石丸
	○特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する専門性が向上した教師80%以上を目指す。	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、連絡会による情報共有							石丸、特支援担任、川久保
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・各学級で安全教育について指導する。 ・登校班で歩いていくことを奨励し、交通ルールなど定期的に全校児童で確認をする。							成富、からだP
	○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上を目指す。	・各学級での食育指導を行い、食事の必要性に気付かせる。 ・給食時間の放送を通して、食材の産地や調理方法に関心をもち、給食の大切さに気付かせる。							成富、からだP
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(毎週金曜日)を確実に実施し、18時に施錠する。 ・校務システムを利用して、職員会議等の時間を削減する。							教頭
	○「コミュニティ・スクール」及び「官民一体型学校」としての開かれた学校づくり	○保護者アンケートで「開かれた学校づくりに努めている」の肯定的な回答を90%以上にする。	・地域と連携した教育活動の様子を、学校HPや学校・学級だより等で定期的にかつ積極的に情報発信する。							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				◎志を高める教育	○自らの夢や目標をもち、それに向かって努力しようとする気持ちを高める教育活動を推進する。	○児童アンケートで、授業内容が「わかった」「できた」と回答する児童を80%以上にする。	・授業の振り返りを毎時間確実に実施する。			
○立腰教育の推進	○立腰三原則の徹底	○立腰がきちんとできる児童(自己評価で)を90%以上にする。 ○気持ちの良い返事・あいさつ・言葉遣い、話を聞く姿勢・はきもの揃えを意識して行動できる児童(自己評価で)を85%以上にする。	・あいさつ・あいさつ運動、日常の学級指導 ・返事・・・日常の学級指導 ・後始末・・・環境委員会を中心に置き物(くつ箱、トイレ)揃え、掃除用具を正しく片付ける活動を仕組む。							渡邊、くらしP

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--